

「ノジマフットボールパーク」は、神奈川県相模原市をホームタウンとする女子サッカーなでしこリーグ1部「ノジマステラ神奈川相模原」の練習場です。2013年から使用しているメインピッチは、このたび照明設備を主に省エネ、メンテナンスフリーを目的に従来のHID器具からLED投光器にリニューアルしました。

「ノジマステラ神奈川相模原」は、2012年2月に創設され、5年目の2016年に1部昇格を果たしました。スローガンに「スポーツで幸せな地域を」を掲げ、「人創り」「街創り」「元気創り」に貢献。クラブ所在地でもある「ノジマフットボールパーク」はクラブハウスや選手寮なども整え、メインピッチは地域住民に開放され、練習見学や選手との交流も活発に行われ、地域に愛されるチームとして定着しています。



【物件概要】
所在地：神奈川県相模原市南区新戸478番地1
施主：(株)ノジマ
施工：電気/エルティールイト(株)
完成：2020年1月



ゴールエリアから望むLED投光器①②による照明

省エネ、メンテナンスコスト低減と同時に快適な練習環境を実現。

メインピッチは120m × 82mの広さがあり、照明塔はその4隅とハーフウェーライン上の両サイド、計6基建てられ、高さ12mから14mの位置に、1.5kW形のLED投光器を10台ずつ設置しています。それぞれ手前側を広角形2台、遠方を中角形8台で照射することで、ピッチ全体にムラの少ない美しい照明が広がります。また平均照度は426ルクス、照度均斉度は0.65を確保。JIS Z9127-2011「スポーツ照明基準」の運

動競技区分Ⅱ（一般競技）も十分にクリアしています。グレア抑制を考慮した器具設計で、選手たちからも「明るくなった」と好評です。さらに反射鏡の光学技術で、光が有効に被照射面を照らすため地域周辺への漏れ光も抑え、空中に上がったボールも視認しやすい特徴があります。LED投光器によって省エネ、メンテナンスコスト低減を実現するとともに、快適な練習環境を創り出しています。



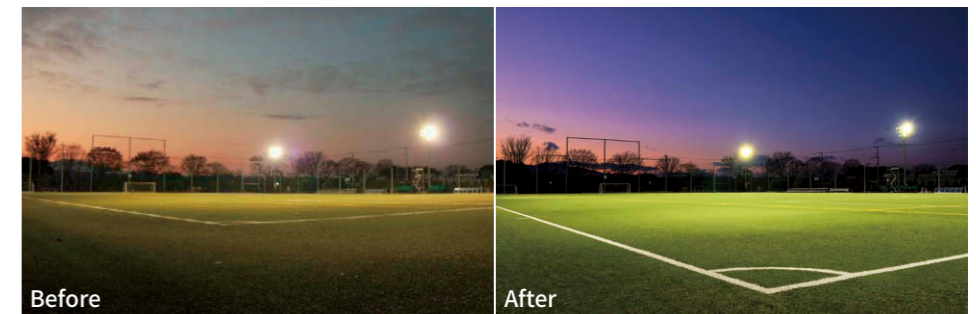
①②LED投光器 照明塔に10台設置



コーナーアーク後方より望むピッチ照明



ハーフウェーライン上方から望むピッチ全体の照明



同方向から見た従来器具(左)とLED投光器(右)による照明比較

主な掲載器具一覧				
設置場所	器具名(品種名)	形名	台数	備考
メインピッチ	①LED投光器(中角形)1.5kW効率重視形メタルハライドランプ器具相当	LEDS-70409NM-LJ2	48	消費電力:800W
	②LED投光器(広角形)1.5kW効率重視形メタルハライドランプ器具相当	LEDS-70409NW-LJ2	12	消費電力:800W